

令和6年度（2024年度）
10月入学
兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程
学生募集要項

一般選抜
特別選抜（社会人）
特別選抜（外国人）

【連絡先】

〒670-0092

姫路市新在家本町1-1-12

兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課

電話 (079) 292-1513

FAX (079) 292-1530

問い合わせ受付時間 平日9:00~17:00

目 次

ページ

I. 令和6年度10月入学募集要項 1～6

- 1 募集人員
- 2 出願資格及び条件
- 3 出願受付期間
- 4 出願手続
- 5 選抜方法
- 6 学力試験・口述試験日程等
- 7 合格発表
- 8 入学料及び授業料
- 9 入学手続
- 10 注意事項
- 11 不測の事態について
- 12 出願資格認定について
(参考)

- ・ 出願手続に必要な書類等一覧
- ・ 長期履修制度について

II. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表 7

【出願手続に関する提出書類等】

- ① 入学願書 (様式1)
- ② 推薦書 (様式2)
- ③ 承諾書 (様式3)
- ④ 博士前期課程（修士課程）等における研究等概要 (様式4)
- ⑤ 博士後期課程における研究計画書 (様式5)
- ⑥ 出願資格認定審査申請書 (様式6)
- ⑦ 研究・活動報告書（その1） (様式7)
- ⑧ 研究・活動報告書（その2） (様式8)
- ⑨ 研究・活動内容確認書 (様式9)

【その他】

試験会場案内図

教育ポリシー（大学院環境人間学研究科博士後期課程） 抜粋

1. 育成する人材像

環境人間学研究科では、次のような人材を育成することを目指す。

- ① 環境と人間に関する学際的、融合的なアプローチを通じて、新たな環境創造を担う
高度な識見と、環境に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる研究力を有する人材
- ② 人間学の基本に立ちながら、21世紀の自然環境、科学技術、地域社会、人間、あるいはその関係性はどうかという視点で考究し、社会のニーズに応える高度な専門知識と問題発見能力を備えた人材

2. アドミッション・ポリシー

- ① 入学前に必要な能力や適性など
(博士後期課程)

<求める学生像>

- 1) 環境に関する諸問題に関心を持ち、専門職業人としての基礎的な学問を学び、研究を行う意欲がある人
- 2) 環境に関する諸問題に対して、より広い視野、高度な知識、鋭い先見性をもって、体系的な問題発見・分析能力、および技術を身に着けることを目指している人
- 3) 環境に関する諸問題に対応する方策を具体的に考察し、知的好奇心を持って積極的・活動的に取り組む行動力がある人
- 4) 環境と人間との相互作用として、人間の健康や文化の多様性を探求し、環境共生社会の実現に向けた具体的な方策を考えようとしている人

<アドミッション・ポリシー>

- 1) 知識・技能

博士後期課程では、博士前期課程で学んできた専門分野の知識と、環境と人間に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる能力を駆使して、現代社会が抱える様々な課題を捉えて、その解決を行うことのできる高度な知識と技術を身に付けることができる人

- 2) 思考力・判断力・表現力

研究者および社会人としての経験や仕事を通して、環境人間学の大切さを認識し、その実践力を発揮するための思考力、判断力、表現力を身に付けることができる人

3) 主体性・多様性・協働性

人間社会のニーズに応える諸課題の解決に対して、環境人間学を積極的に応用し、国際的な視野に立って解決の方策を実践するための主体性、多様性、協働性を身に付けることができる人

②入学後に求めること・持つべき目的、意欲など

(博士後期課程)

<求める学生像>

これらの分野で、次代を担う環境人間学に関する学術的・実践的な新たな学際研究を開拓し、そこで創出される研究成果を実社会に最大限に換言することによって、地域社会やグローバル社会の発展に貢献するための研究意欲にあふれた人

③入学前に学習しておくことが期待される内容

(博士後期課程)

環境人間学研究科博士後期課程で学ぶために必要な大学院博士前期課程修了相当の基礎学力と、幅広い教養及び高度な専門性

④入学選抜における評価方法、その比重等

(博士後期課程)

本研究科では、国内外の大学で博士前期課程あるいは修士課程で修士を取得した人、社会人として本研究科の研究課題と関係のある業務に携わってきた人など、広い分野からの学生を求めている。

本研究科では、入学者選抜の基本方針として、受験機会の複数化を保証し、本研究科の教育理念・目標に合致した学生の選抜を行っている。博士後期課程では、特別選抜（推薦）、一般選抜、特別選抜（社会人、外国人）を実施している。入学者の選抜は、口述試験、面接および出願書類により、志願者の能力や資質に関する総合的な評価に基づき、研究能力を有する人材の選抜を実施している。出願書類審査により、文章力、語学力、専門的知識等について評価し、口述試験及び面接によりプレゼンテーション能力についても評価する。

I. 令和6年度大学院環境人間学研究所博士後期課程の学生を次のとおり募集する。

(令和6年10月入学)

10月入学	一般選抜	特別選抜（社会人）	特別選抜（外国人）
1 募集人員	環境人間学専攻 6名	環境人間学専攻 若干名	環境人間学専攻 若干名
2 出願資格及び条件	<p>(1) 出願資格 次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2024年9月30日までに取得見込みの者</p> <p>② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦ 文部科学大臣の指定した者（2024年9月30日までに該当する見込みの者を含む。）</p> <p>⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで24歳に達している者</p> <p>⑦、⑧に該当する者は、<u>出願前に本研究科の出願資格認定の事前審査を行うので、4ページ（出願資格認定について）を読んで手続きすること。ただし、⑧に該当する者は、修士論文に相当する論文が少なくとも一編以上あることが必要である。また、⑧に該当する者は、加えて、特に優れた業績があることが事前の学力審査により認められることが必要である。</u></p> <p>(2) 出願条件 出願者は、希望する研究指導教員とあらかじめ協議のうえ出願すること。</p>	<p>(1) 出願資格 本学環境人間学研究所指導教員の推薦があった者で、2024年10月1日現在において27歳以上で、5年以上の勤務経験又は社会経験を有し、その経験を大学院での研究水準において深化させることを目指す者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2024年9月30日までに取得見込みの者</p> <p>② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦ 文部科学大臣の指定した者（2024年9月30日までに該当する見込みの者を含む。）</p> <p>⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>特別選抜（社会人）として出願する者はすべて出願資格認定の事前審査を行うので、4ページ（出願資格認定について）を読んで手続きすること。ただし、修士論文に相当する論文が少なくとも一編以上あることが必要である。また、⑧に該当する者は、加えて、特に優れた業績があることが事前の学力審査により認められることが必要である。</p>	<p>(1) 出願資格 日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者</p> <p>① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2024年9月30日までに取得見込みの者</p> <p>② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2024年9月30日までに授与される見込みの者</p> <p>⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>⑦ 文部科学大臣の指定した者（2024年9月30日までに該当する見込みの者を含む。）</p> <p>⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時まで24歳に達している者</p> <p>⑦、⑧に該当する者は、<u>出願前に本研究科の出願資格認定の事前審査を行うので、4ページ（出願資格認定について）を読んで手続きすること。ただし、修士論文に相当する論文が少なくとも一編以上あることが必要である。また、⑧に該当する者は、加えて、特に優れた業績があることが事前の学力審査により認められることが必要である。</u></p> <p>日本に在住しない外国人が出願するにあたっては、諸々の手続き（出願、受験、入学、入国等）について、希望する研究指導教員と入念に事前打ち合わせを行うこと。</p>

	一般選抜	特別選抜（社会人）	特別選抜（外国人）
3 出願受付期間	令和6年7月22日（月）から令和6年8月1日（木）まで（必着） 受付時間：平日の午前9時30分から午後4時まで。土曜・日曜・祝日は受け付けない。		
4 出願手続	以下の書類等を兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課に提出する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入学料30,000円（ゆうちょ銀行又は郵便局が令和6年7月1日以降に振出した「普通為替証書」によること。証書には何も記入しないこと）ただし、本学大学院研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書（様式1-社会人） ・推薦書（様式2）（事前の出願資格認定審査で提出） ・外国人留学生は、住民票（在留資格、在留期間の記載されたもの） 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書（様式1-外国人） ・承諾書（様式3）
	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書（様式1-一般） ・承諾書（様式3） ・外国人留学生は、住民票（在留資格、在留期間の記載されたもの） 		
	<p>（共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC、TOEFL-iBT(Home editionを除く。出願スコアは、Test Data Scoreのみ認め、My Best Scoreは認めない。)のうちいずれかをあらかじめ会場受験した上で、その成績証明書（公式認定証）のコピー（成績証明書の有効期限は、願書提出期限日から3年以内とする。すなわち、証明書発行日が令和3年8月1日～令和6年8月1日までのもの。）注1） ・出身大学の卒業証明書及び成績証明書 ・出身大学院（修士課程又は博士前期課程）の修了（見込）証明書及び成績証明書 ・博士前期課程（修士課程）等における研究等概要（様式4に日本語で記入のこと） ・博士後期課程における研究計画書（様式5に日本語で記入のこと） ・受験票返送用封筒（長形3号封筒に住所、氏名、を記載し、「速達」と朱書きし344円分切手を貼付）ただし、出願提出期限の翌日以降に学務課に受験票を取りに来る者は提出不要 <p>注1) 特別選抜（外国人）で英語が母語の者については、提出不要。希望する指導教員を通じてあらかじめ学務課と協議の上、出願すること。</p> <p>注2) 「様式○」は募集要項に添付の様式を使用すること。</p> <p>注3) 日本語以外の書類は、日本語訳を添付のこと。</p> <p>注4) 事前審査の際に提出した書類は提出しなくてよい。</p>		
5 選抜方法	入学者の選抜は、口述試験及び出願書類を総合評価して行う。 口述試験は、博士後期課程の研究に関する20分程度のプレゼンテーションを含む。		
6 口述試験日程及び場所	(1) 日時 令和6年8月23日（金） ・口述試験 10:00 ～	(1) 日時 令和6年8月23日（金） ・口述試験 10:00 ～	(1) 日時 令和6年8月23日（金） ・口述試験 10:00 ～
	(2) 口述試験場所 姫路市新在家本町1丁目1番12号 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス （詳細については、当日、F棟前に掲示する）		

7 合格発表

令和6年8月29日（木） 午後2時

兵庫県立大学環境人間学部・研究科のホームページ (<https://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>) に掲示するとともに、合格者には郵便により通知する。

電話による問い合わせには、応じない。

8 入学料及び授業料（令和6年4月1日現在）

(1) 本学大学院研究科博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程へ進学する者

納入時期		入学手続時 (令和7年3月)	令和7年5月	令和7年10月	合計
区分					
入学料					
授業料			267,900円	267,900円	535,800円
諸経費		36,000円			36,000円

(2) その他の者

納入時期		入学手続時 (令和7年3月)	令和7年5月	令和7年10月	合計
区分					
入学料	甲（県内）	282,000円			282,000円
	乙（県外）	423,000円			423,000円
授業料			267,900円	267,900円	535,800円
諸経費	本大学卒業生	36,000円			36,000円
	他大学卒業生	78,000円			78,000円

(注1) 兵庫県公立大学法人授業料等に関する規程が改正された場合は、その金額による。

(注2) 甲はア～ウのいずれかに該当する者で、乙はそれ以外の者

ア. 入学の日（令和7年4月1日）の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

イ. 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

ウ. 特別選抜（外国人）入試により入学する者

9 入学手続

手続期間 令和7年3月上旬(手続書類は3月に郵送する)

10 注意事項

- 口述試験に含まれる「プレゼンテーション」について
プレゼンテーションの内容は、博士後期課程の研究内容に関するもので、時間は20分程度とし、原則としてパソコン（以下、PC）を使用して実施してください。
試験当日に発表用のデータが入ったUSBメモリを持参し、そのデータを用いてプレゼンテーションを行ってください。試験開始前に、作動確認を行います。
データはオフラインで発表できる内容で作成してください。トラブルが起きた場合を想定し、プレゼン資料を紙に印刷して持参したり、自分のPCを持参したりして、各自で対策をとるようにしてください。
PCは原則大学が用意したPC（Windows11, PowerPoint2016）を使用していただきますが、トラブルが発生した場合は持参したPCの使用を認めます。
- 出願書類等を郵送する場合は、必ず簡易書留とすること。（締切当日必着）
送付先：〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課
- 納付された入学考査料は、返還しない。
- 一般選抜の出願資格⑦、⑧、特別選抜（外国人）の出願資格⑦、⑧に該当する者及び特別選抜（社会人）が出願する場合は、出願に先立ち事前審査を実施する。4ページを参照すること。
- 職業を有している等の事情により、標準就業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、長期履修制度を設けている。希望する者は「長期履修制度について」（5ページ）を読み、期日までに申請手続きを行うこと。

(6) 授業はすべて日本語で行われるので、外国人学生で日本語の能力が十分でない者は、日本語の予備教育を受けておくことが望ましい。外国人学生は、在学中の学費・生活費等について、自ら責任を持って準備する必要がある。

(7) 身体に障がいがある者との事前協議

身体に障がいがある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、願書受付期間前の令和6年6月28日（金）午後4時までに申し出ること。協議申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合、本学において志願者又はその立場を代弁しうる関係者等との面談を行う。

11 不測の事態（交通機関の乱れ、災害発生等）について

- (1) 試験当日、台風や地震等不測の事態により交通機関が途絶したり遅延した場合、状況によっては試験時間を繰り下げたり、試験日を変更するなどの措置をとることがある。
- (2) そのような事態が発生したときは、午前8時以降環境人間学部のホームページ上に掲載するので確認をすること。（<http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>）
- (3) 問い合わせは兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス学務課（TEL 079-292-1513）まで

12 出願資格認定について

(1) 事前審査

一般選抜の出願資格⑦、⑧、特別選抜（外国人）の出願資格⑦、⑧に該当する者、及び特別選抜（社会人）が出願する場合は、出願に先立ち出願資格認定審査を実施する。

下記の書類を希望する研究指導教員に提出し、あらかじめ協議し審査を受けた上で、令和6年6月26日（水）～7月6日（金）（土曜・日曜・祝日を除く）までに、姫路環境人間キャンパス学務課まで提出すること。郵送の場合は、簡易書留郵便（締切当日必着）とし、封筒に「博士後期課程出願資格事前審査書類在中」と朱書きすること。

- ・ 出願資格認定審査申請書（様式6）
- ・ 推薦書（社会人学生のみ、様式2）
- ・ 卒業証明書（最終出身学校）※日本語以外の証明書は、和文訳を添付すること。
- ・ 成績証明書（最終出身学校）※日本語以外の証明書は、和文訳を添付すること。
- ・ 研究・活動報告書（その1）（様式7）
- ・ 研究・活動報告書（その2）（様式8）
- ・ 研究・活動内容確認書（様式9）
- ・ 審査結果通知用封筒（長形3号封筒に返送先の住所・氏名を記入、速達郵便切手344円分を貼付）

※ 様式〇は募集要項に添付の様式を使用すること。

※ 出願資格⑧に該当する者は、書類審査に加えて、面接審査を行う。面接審査は、研究業績に関する20分程度のプレゼンテーションにより行う。そのため、志願者は希望する研究指導教員に面接審査の日程をあらかじめ相談すること。なお、口述試験と同じ方法で実施するので、10注意事項(1)を参照のこと

(2) 出願手続

出願資格認定の審査結果は文書で令和6年7月12日（金）までに本人あて通知する。認定された者は、出願受付期間中に所定の書類等を整え提出し、出願手続をとること。（2ページ参照）

参考 出願手続に必要な書類等一覧

	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (外国人)
(1) 入学願書	○ (様式1)	○ (様式1)	○ (様式1)
(2) 推薦書	—	○ (様式2) * 出願資格認定 審査で提出	—
(3) 承諾書	○ (様式3)	—	○ (様式3)
(4) 博士前期課程（修士課程）等における研究等概要	○ (様式4)	○ (様式4)	○ (様式4)
(5) 博士後期課程における研究計画書	○ (様式5)	○ (様式5)	○ (様式5)
(6) 住民票	外国人	外国人	—
(7) ①出身大学の卒業証明書、成績証明書、②出身大学院の修了（見込）証明書、成績証明書	○	○	○

長期履修制度について

(1) 趣 旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象とし、事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる。

(2) 対象となる学生

長期履修を申請することができる学生は、本学に在学する者及び入学する予定の者のうち、次のいずれかに該当する者である。

ア 定まった職業を有する者（自営業及びフルタイムの有職者と同等の勤務状況にあると認められる臨時雇用を含む）

イ 家事、育児、介護等を行う必要のある者

ウ 障がいのある者

エ その他長期履修が必要となる特別な理由があると認められる者

(3) 申請手続

長期履修を希望する学生は、入学手続後、指導教員に相談の上、次のア、イ、ウの書類を、姫路環境人間キャンパス学務課へ提出すること。

ア 長期履修許可願（様式第1号）（添付省略）

イ 長期履修計画書（様式第2号）（添付省略）

ウ 証明書類

- ① 会社等に勤務する者は、所属長の在職証明書
- ② 家事、育児、介護等に従事している者は、家事、育児、介護等に従事していることの証明書又は申立書
- ③ 障がいがあることを証明するもの
- ④ 本人の健康状態を理由として申請する者は、医師の診断書
- ⑤ その他研究科長が提出を求める書類

(4) 長期履修を認める期間

長期履修を認める期間（以下「長期履修期間」という）は、博士前期課程にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては4年以上6年までであつて、その期間は1年単位である。

(5) 長期履修期間の変更

長期履修を許可された者（以下「長期履修者」という）が対象に該当しなくなった場合は、次年度から履修期間を当該課程の修業年限等に変更することを申し出ること。

長期履修期間の短縮は、3月修了予定者については、短縮により修了することとなる年度の11月1日から11月末日まで、また、9月修了予定者については、短縮により修了することとなる年度の5月1日から5月末日までに、長期履修期間の延長は、4月入学者については、延長により修了することとなる年度の11月1日から11月末日まで、10月入学者については、延長により修了することとなる年度の5月1日から5月末日まで（いずれも、最終日が休日の場合、その翌日）に長期履修期間変更申請書（様式第3号）を学務課に提出すること。長期履修期間の変更は、当該課程において、1回限りである。

なお、長期履修期間を短縮する場合は、短縮が認められるときに短縮に係る授業料の差額が必要となる。

(6) 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立大学授業料等に関する規程で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額とする。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は再計算される。

$$\text{長期履修者の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

Ⅱ. 環境人間学研究科（博士後期課程）教員表

*印は、研究指導教員

(令和6年4月1日現在)

授業科目	担当教員(研究部門)及び授業等の概要
環境人間学 特別演習	<p>本特別演習は教員の個別のフィールドから、環境と人間の相互関係について考察し、総合的に捉えることができるようにする。また、これらに隠されている問題を正しく認識・評価し、問題の解決をめざし、好ましい環境創造のための新しい知の体系化を考究することにより、それぞれの専門領域における諸問題を総合的に考察し、解決できる能力を深めさせる。</p> <p>[人間環境部門]</p> <p>有満 秀幸 教授（食品の安全性について微生物学の視点から） *伊藤美紀子 教授（疾患における代謝異常と栄養療法の視点から） *乾 美紀 教授（マイノリティの教育問題とそれに対する教育支援の視点から） 井上 靖子教授（臨床心理学、心理療法とカウンセリングの視点から） *内田勇人 教授（子どもの発達と健康、高齢者の健康の視点から） *尾崎公子 教授（教育政策の視点から） *加藤陽二 教授（食品・生命科学と生活環境の視点から） 金子一郎 准教授（老化予防栄養学の視点から） 鄭 成 教授（個人史の視点から） *寺西雅之 教授（文体論および英語教育・学習論の視点から） 中出麻紀子 准教授（健康的な食事・食習慣と関連要因の視点から） *永井成美 教授（生体内環境と食との関わりという視点から） *村上 明 教授（食品成分の機能性についてストレス応答の視点から） *吉田 優 教授（代謝物解析の視点から） *吉村美紀 教授（食品に対するヒトの感覚機能と健康の視点から）</p> <p>[社会環境部門]</p> <p>*赤澤宏樹 教授（緑地計画学の視点から） *石田弘明 教授（植生学の視点から） *宇高雄志 教授（人間居住の視点から） *宇野康司 教授（地質学の視点から） *太田尚孝 教授（都市計画学の視点から） *大橋瑞江 教授（生態系の構造と機能の視点から） *木村玲欧 教授（社会科学的的手法による災害・防災研究の視点から） *栗山武夫 准教授（哺乳類の生態系管理の視点から） *高橋鉄美 教授（進化生態学の視点から） 中桐斉之 准教授（生態環境と情報科学的な視点から） *中畠一憲 教授（環境経済学の視点から） 藤木大介 准教授（野生動物管理と森林管理の視点から） 三田村哲哉 教授（建築意匠学の視点から） *安枝英俊 教授（建築計画学の視点から） *山端直人 教授（野生動物管理と農村計画学の視点から） *横山真弓 教授（野生動物管理学の視点から） *森光由樹 准教授（保全生態学の視点から）</p>

博士後期課程 (樣式)

博士後期課程（10月入学） 一般選抜入学願書

環境人間学専攻		受験番号		※				
フリガナ				性別	男女	生年月日	年 月 日	
氏名								
出願資格	出身学校	大学		学部		学科		
		大学院		研究科		課程		
		年	月	卒業・修了・修了見込				
現住所		〒		—		TEL () —		
						本人携帯 () —		
緊急連絡先	住所	〒		—		TEL () —		
	氏名						※	
		続柄					入学審査料領収印	

※欄は、記入不要。裏面にも記入のこと。

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程（10月入学）一般選抜

写真票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

写真貼付欄
(受験票と同じものを貼る)

入学審査料領収印

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程（10月入学）一般選抜

受験票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

・試験日

令和6年8月23日（金）

・試験場所

兵庫県立大学

姫路環境人間キャンパス

写真貼付欄

提出前3か月以内に撮影した写真（無帽・上半身正面）

4cm×3cm

入学審査料領収印

(裏面)

学歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

注意

- 1 緊急連絡先の欄は、本人に必ず連絡できるものを記入すること
- 2 ※印のところは記入しないこと
- 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること
- 4 学歴は高等学校入学時から記入すること
- 5 この用紙は切り離さないこと

博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (社会人) 入学願書

環境人間学専攻		受験番号		※			
フリガナ				性別	男女	生年月日	年 月 日
氏名							
出願資格	出身学校	大学		学部		学科	
		大学院		研究科		課程	
		年	月	卒業・修了・修了見込			
現住所		〒 — TEL () —		本人携帯 () —			
緊急連絡先	住所	〒 — TEL () —		※			
	氏名	続柄		入学審査料領収印			

※欄は、記入不要。裏面にも記入のこと。

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (社会人)

写真票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

写真貼付欄
(受験票と同じものを貼る)

入学審査料領収印

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (社会人)

受験票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

・試験日

令和6年8月23日 (金)

・試験場所

兵庫県立大学

姫路環境人間キャンパス

写真貼付欄

提出前3か月以内に撮影した写真 (無帽・上半身正面)

4cm×3cm

入学審査料領収印

(裏面)

学歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

注意

- 1 緊急連絡先の欄は、本人に必ず連絡できるものを記入すること
- 2 ※印のところは記入しないこと
- 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること
- 4 学歴は高等学校入学時から記入すること
- 5 この用紙は切り離さないこと

博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (外国人) 入学願書

環境人間学専攻		受験番号 ※	
フリガナ		性別	男 女
氏名		生年月日	年 月 日
出願資格	出身学校	大学 大学院 年 月	学部 研究科 卒業・修了・修了見込 学科 課程
現住所		TEL () - 本人携帯 () -	
緊急連絡先	住所	TEL () - ※	
	氏名	続柄 入学審査料領収印	

※欄は、記入不要。裏面にも記入のこと。

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (外国人)

写真票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

写真貼付欄
(受験票と同じものを貼る)

入学審査料領収印

令和6年度兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
博士後期課程 (10月入学) 特別選抜 (外国人)

受験票

受験番号	
※	
フリガナ	
氏名	
生年月日	年 月 日生
出身学校	

・試験日

令和6年8月23日 (金)

・試験場所

兵庫県立大学

姫路環境人間キャンパス

写真貼付欄

提出前3か月以内に撮影した写真 (無帽・上半身正面)

4cm×3cm

入学審査料領収印

(裏面)

学歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
職歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

注意

- 1 緊急連絡先の欄は、本人に必ず連絡できるものを記入すること
- 2 ※印のところは記入しないこと
- 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること
- 4 学歴は高等学校入学時から記入すること
- 5 この用紙は切り離さないこと

推薦書

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院

環境人間学研究科長 様

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

博士後期課程研究指導教員

職・氏名

印

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程入学（令和6年10月入学）志願者として、下記の者を推薦します。

志願者	フリガナ 氏名 (生年月日)	昭和・平成 年 月 日生
	所属・職名	

（志願者の研究分野、素質、将来の希望等、ご意見を下欄にご記入ください。）

一般・外国人

承諾書

志願者氏名 _____

上記の者が本学大学院に入学した場合、その研究指導を行うことを承諾する。

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

博士後期課程 環境人間学専攻

研究指導教員

印

博士前期課程（修士課程）等における研究等概要

博士前期課程（修士課程）

研究科

氏名

研究題目

研究概要

(注) 修士論文を課していない専門職大学院の修了（見込み）の者は、その教育概要を記載すること。

博士後期課程における研究計画書

氏名 _____

研究題目

研究計画

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科
出願資格認定審査申請書

令和 年 月 日

環境人間学研究科長 様

氏名 印

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士後期課程の出願資格認定審査を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

申請根拠（1ページの「出願資格及び条件」から該当する項目を選んでください。）

記載欄

--

(令和6年10月入学)

フリガナ 氏 名	現 職	
(生年月日 年 月 日)	現住所	
最終卒業学校名		年 月 卒業
略歴（学歴・職歴・学会及び社会における活動）		
学歴（高等学校卒業以降）		
		年 月 卒業
		年 月 入学
		年 月 卒業
職歴		
		年 月 入社
		年 月
		年 月
		年 月
		年 月
		年 月
社会及び学会における活動（所属学会名等）		
賞 罰		

研究・活動報告書（その1）

フリガナ

氏名

出願資格認定審査申告書の申請根拠に関連した研究・活動について記すこと。

研究・活動報告書（その2）

著書・学术论文等の 題名（注）	著書名 又は発表者名	発行所、発表雑誌 又は発表学会等の名称	巻、号、頁（年） 又は発表の年月

（注）学会雑誌、学会発表（研究会）、社内報告/技術レポート、特許/実用新案、業界紙（商業誌）、製品報告（製品紹介）等があれば記入してください。

認定

研究・活動内容確認書

申請者氏名

上記の者の研究・活動内容について、確認しました。

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

博士後期課程 環境人間学専攻

研究指導教員

印

試験会場案内図

兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス

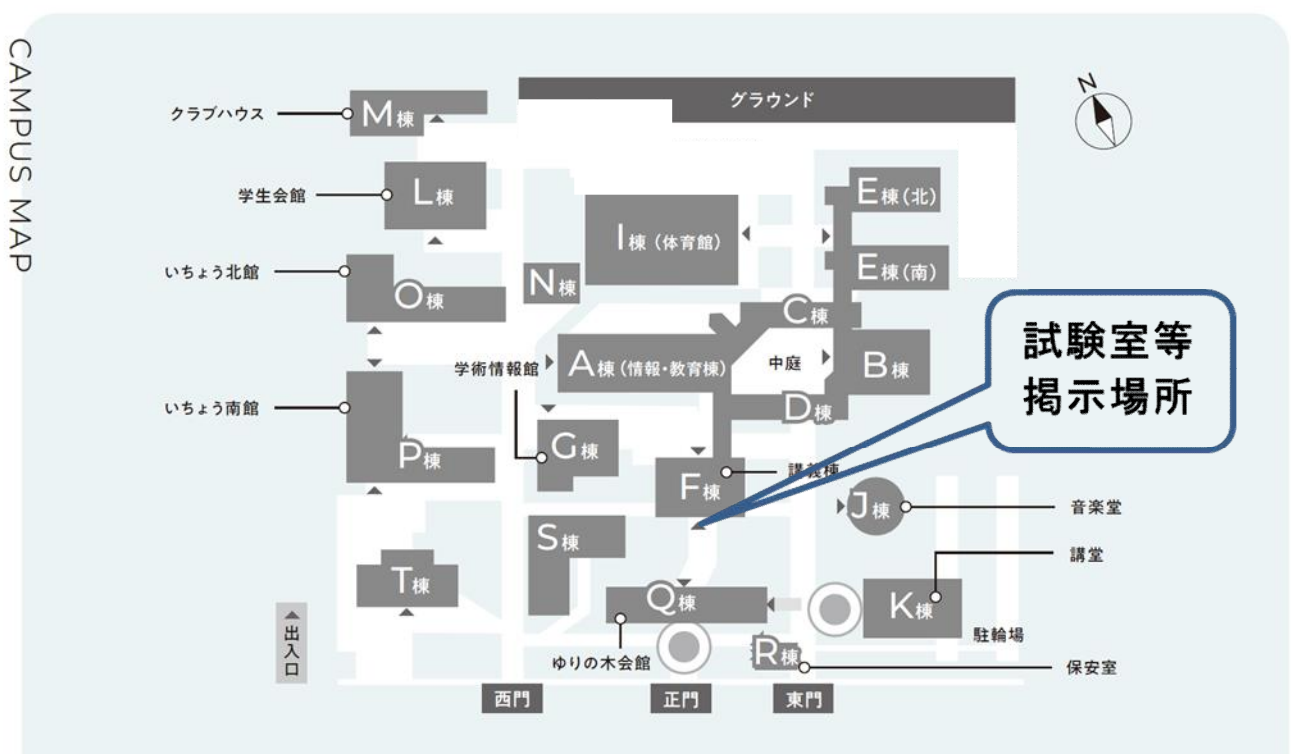


【交通】 姫路駅（J R・山陽電車）前の神姫バス9番・10番乗り場から出発するバスは全て「県立大環境人間学部」を經由します。

※バスを利用する方は、姫路工学キャンパス行きのバスに乗らないように注意してください。

※タクシーを利用する方は、「新在家の環境人間学部」と告げて、姫路工学キャンパスでないことを明確に伝えてください。

キャンパス内建物配置図



兵庫県立大学大学院環境人間学研究科

ホームページ <http://www.u-hyogo.ac.jp/shse/koho/index.html>

〒670-0092 兵庫県姫路市新在家本町1丁目1番12号

TEL (079) 292-1513 (学務課直通)

FAX (079) 292-1530